

第二十回

福岡県文化賞 贈呈式 & 記念イベント

平成24年12月1日(土) 13:00開演(12:30開場) [会場] 福岡シンフォニーホール

山本作兵衛さんの原画
築城則子さんの小倉織

会場にて
特別展示!!

福岡県

アクロス福岡
ACROS FUKUOKA



福岡県立大学所蔵

[社会部門]

福岡県立大学
附属研究所
生涯福祉研究センター
山本作兵衛さんを
〈読む〉会



[創造部門]

染織家
築城 則子



[奨励部門]

作家
西村 健



■ プログラム

第1部 贈呈式

第2部 記念イベント

■ 受賞者3名によるトークイベント
コーディネーター：林田スマ

第20回記念

南 紫音 ヴァイオリン
コンサート

[出演] 南 紫音 (ヴァイオリン)

第14回福岡県文化賞奨励部門受賞者

河地恵理子 (ピアノ)

[曲目]

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第40番 変ロ長調 K.454 より第1楽章

チャイコフスキー：懐かしい土地の思い出 op.42

ヴィエニャフスキ：華麗なるポロネーズ 第1番 ニ長調 op.4



©Ariga Terasawa

■ 入場無料 (要入場整理券・先着1,200名)

■ 参加申込方法

郵便番号、住所、氏名、電話番号、必要枚数と「福岡県文化賞記念イベント参加希望」と明記の上、官製はがき、FAX、Eメールでお申し込み下さい。また、インターネットからお申し込み（「福岡県電子申請」で検索）もできます。先着順に入場整理券をお送りします。定員になり次第、締め切らせていただきます。

■ お申し込み・お問い合わせ

TEL. 092-643-3382

〒812-8577 福岡県県民文化スポーツ課・文化賞担当

[郵便番号のみ、住所は不要]

FAX. 092-643-3408

E-mail kenbun@pref.fukuoka.lg.jp

<http://www.shinsei.elg-front.jp/fukuoka/navi/pref/>



[主催]

福岡県、(公財)アクロス福岡

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会



ふくおか
県民文化祭

九州沖縄から



文化力
POWER OF
CULTURE

第二十回 福岡県文化賞 受賞者紹介

福岡県文化賞は、県民のみなさまの幅広い文化活動を促進し、本県文化の向上・発展を図るため、広く文化の振興に顕著な功績のあった個人や団体を表彰するものです。受賞者の業績をたたえとともに、その功績を広くお披露目する受賞記念イベントを開催します。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

◆創造部門◆



染織家 築城 則子 Noriko Tsuiki
 昭和27年生 北九州市在住

昭和59年に、昭和初期に途絶えていた小倉織を復元した後、小倉織から派生した小倉霜降や小倉縮も含め創造的な作風で染織し、その普及に努めている。北九州の山里に工房を構え、福岡各地での活動はもちろん全国で展覧会を開催するとともに、公募展にも出品して数々の受賞を重ね、平成22年に日本伝統工芸展において「小倉縮木綿帯『面影』」が日本工芸会奨励賞を受賞するなど高い評価を得ている。平成21年から毎年、経済産業省のジャパンブランドとしてパリやミラノの展示会に出展し、海外からの注文も受けるようになった。氏の伝統工芸に対する熱意と真摯な姿勢による小倉織の普及活動並びに創作活動は、本県の伝統文化の向上・発展に多大な貢献をしている。

◆社会部門◆



福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター・山本作兵衛さんを〈読む〉会
 平成14年設立 所在地：田川市

山本作兵衛氏の終の棲家が解体される直前、遺族から最終的調査の依頼を受けた県立大学関係者が日記やノート類を発見し、大学関係者と地元ボランティアで「〈読む〉会」を結成した。以降、県立大学及び田川市石炭・歴史博物館所蔵の日記類の解読作業や地域にある記録画の所在確認等を10年にわたり続けてきた。平成23年5月、日本初のユネスコ「世界記憶遺産」に山本作兵衛氏の遺品が登録された際、時代背景を確認し評価する上で、当団体が行った日記類の解読が重要な役割を果たした。筑豊炭田の歴史的意義や炭鉱文化等を次世代へ継承していくため、当団体の活動は大変意義深いものであり、本県における地域振興や地域社会づくりに貢献している。

◆奨励部門◆



作家 西村 健 Ken Nishimura
 昭和40年生 東京都在住

福岡市で生まれ、6歳から中学時代まで大牟田市で過ごした後、ラ・サール高校、東京大学工学部、旧労働省を経て作家の道に進んだ。ノンフィクションやエンターテインメント小説を軸に、さまざまなテーマの作品を執筆する。第30回日本冒険小説協会大賞と第33回吉川英治文学新人賞のダブル受賞となった『地の底のヤマ』は、大牟田市の三池炭鉱を舞台とした大作で、丁寧な描写と人物造詣、スケールの大きさなどが注目され、浅田次郎氏に「人間の観察眼は松本清張さんを思い起こさせ、すべての登場人物が生き生きと描かれていた」と高く評価された。郷土出身の作家として活躍し、本県の文化の向上・発展に貢献するとともに、今後一層の飛躍が期待される。



南 紫音 Shion Minami
 平成元年北九州市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。平成17年、ロン＝ティボー国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞し、一躍国際的注目を集めた。平成20年にはCDデビューも果たし、現在最も期待されている若手実力派ヴァイオリニストの一人である。平成16年、第13回アルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールで15歳にして優勝。これまでに国内主要オーケストラをはじめ、フランス・リール国立管弦楽団、サンカルロ歌劇場管弦楽団などとも協演。スペイン・ビルバオ交響楽団との日本ツアーも好評を博した。平成18年に福岡県文化賞を史上最年少の高校生で受賞し、今回の第20回文化賞記念でその後の成長ぶりを晴れやかに披露してくれる。

FAX申込書

E-mail、インターネットでもお申込みできます。

☐ E-mail kenbun@pref.fukuoka.lg.jp

☐ URL <http://www.shinsei.elg-front.jp/fukuoka/navi/pref/>

第十二回

福岡県文化賞
贈呈式&記念イベント

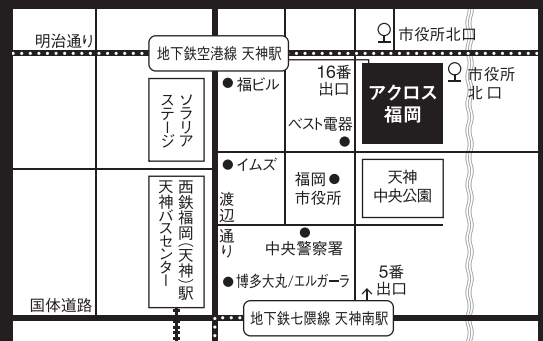
福岡県県民文化スポーツ課・文化賞担当

FAX 092-643-3408

氏名 _____ 必要枚数 _____ 枚

連絡先 〒 _____
住所 _____

TEL _____



【会場】福岡シンフォニーホール

アクロス福岡1F（福岡市中央区天神1-1-1）

【交通アクセス】●地下鉄空港線天神駅より徒歩3分（16番出口）
●地下鉄七隈線天神南駅より徒歩3分（5番出口）●西鉄福岡（天神）駅より徒歩10分 ●西鉄バス市役所北口バス停すぐそば